Agilent OpenLAB CDS
アジレントクロマトデータシステム

OpenLAB ラボ用ソフトウェア製品群

クロマトの管理を向上

Agilent OpenLAB CDS は、ChemStation および EZChrom Elite の次世代版で、最先端の OpenLAB アーキテクチャをベースにしています。統合型のソリューションにより、GLP、GMP、21 CFR パート 11 といった規制ガイドラインの完全なコンプライアンスを実現します。* アジレント機器と他社製機器の両方に完全に対応し、分析のエラーを低減しながら、効率を高めることを可能にします。

* 注：ChemStation エディションは OpenLAB ECM との組み合わせで対応します。

The Measure of Confidence

Agilent Technologies

ソフトウェアベースのラボに対応する効率的なソリューション

今日の分析研究および品質管理ラボでは、ソフトウェアが重要なツールとなっており、研究者はサンプル分析よりも、分析データの検証や再解析、処理などに多くの時間を費やしています。これにより、ラボの生産性が低下してしまいます。

OpenLAB CDS は、データの検証や再解析にかかる時間を減らし、サンプル分析にもっと多くの時間を使うためのツールです。OpenLAB CDS に新たに導入された OpenLAB Shared Services (シェアード・サービス) コントロールパネルは、OpenLAB CDS ソフトウェア全体を直観的かつ簡単に管理できるように設計されています。また、アジレント機器と他社製機器のコントロール機能も向上します。

OpenLAB CDS では、次のような生産性やコスト上のメリットが得られます。

- 新しい OpenLAB Shared Services コントロールパネルは、ネットワーク上にある全ての機器の状態を一つの画面にリアルタイムに映し出します。各機器の履歴がログに残るため、統括的に稼働状況を監視し、効率的な機器の管理と運用ができます。これにより、実情に即した設備投資の計画を立てられ、機器運用・導入の無駄を抑えることで大きなコスト削減が可能になります。
- ラボ全体の機器コントロールの状況と機器の状態のモニタリングの双方向の情報を、携帯端末やノート PC 上で常に監視できます。発生した分析エラーにいち早く対応でき、ダウンタイムを減らすことで、機器全体の稼働率が格段に向上します。
- 新しい OpenLAB Intelligent Reporter は、多彩なテンプレートとカスタマイズの機能で、データ収集以降で時間がかかっていた最終レポートを作成するまでの時間を大幅に短縮させ、作業効率を飛躍的に向上させます。
- これまでデータが分散していたラボ全体および組織全体で、分析データを集中管理して簡単に検索できるようにすることで、ドキュメント資産を有効に用し、組織内の情報共有が期待できます。
- WiFi で iPad やスマートフォンを社内ネットワークに接続するだけで、ラボの全ての機器のステータス情報を表示できる OpenLAB Shared Service コントロールパネルをデスクから持ち出すことができます。分析機器を定期的に見て回らなくても、携帯端末を覗くだけ状況が把握できます。

OpenLAB CDS を使えば、サンプル分析に費やせる時間が増え、直観的で効率的なクロマトデータシステム (CDS) 管理が可能になります。

次世代のアジレントクロマトデータシステム : ChemStation および EZChrom ユーザなら、アップグレードがスムーズ

Agilent ChemStation および EZChrom Elite は、業界最高のクロマトデータシステム技術です。

新しい OpenLAB CDS は、次のステップとしてさらに強力な新機能を提供します。

- スタンドアロンのワークステーションからネットワーク化された全社的なクライアントサーバシステムまで拡張できます。
- 新しい OpenLAB Shared Services コントロールパネルアプリケーションによる直観的なシステム管理を実現します。
- カスタム計算や自動リミットチェック機能を持つ Intelligent Reporter により、分析結果の検証や承認をスピードアップ——新しいグラフィカルな「ドラッグ&ドロップ」機能により、レポート作成も容易になりました。

OpenLAB CDS は、ChemStation および EZChrom の次世代版です。OpenLAB CDS ChemStation Edition および OpenLAB CDS EZChrom Edition という 2 つのバージョンを用意しています。どちらも同じ GUI と操作性を保ちながら機能は大幅に改良され、新しい共有機能を備えています。

現在 ChemStation または EZChrom Elite をお使いの方は、すぐに OpenLAB CDS にアップグレードできます。従来の使い勝手のままアップグレードできるので、操作に戸惑うことはありません。データには上位互換性があります。

新しい OpenLAB Shared Services アーキテクチャなら、スマートフォンから機器ステータスや詳細なログやエラー情報にアクセスでき、社内の離れた所からでもラボの状態をチェックできます。

OpenLAB CDS によりラボの効率を最大化

唯一のデータシステム : 幅広い分析技法に対応

クロマト機器が多様化し、サンプル数が増加するのに伴い、スループットの向上と 1 サンプルあたりのコストの削減が求められるようになっています。OpenLAB CDS は、GC、LC、CE、SFC、LC-MS、CE-MS といった機器のメソッドやレポートに対応できる**唯一のデータシステム**です。

OpenLAB Shared Services コントロールパネル : 使いやすさを第一に考えた設計

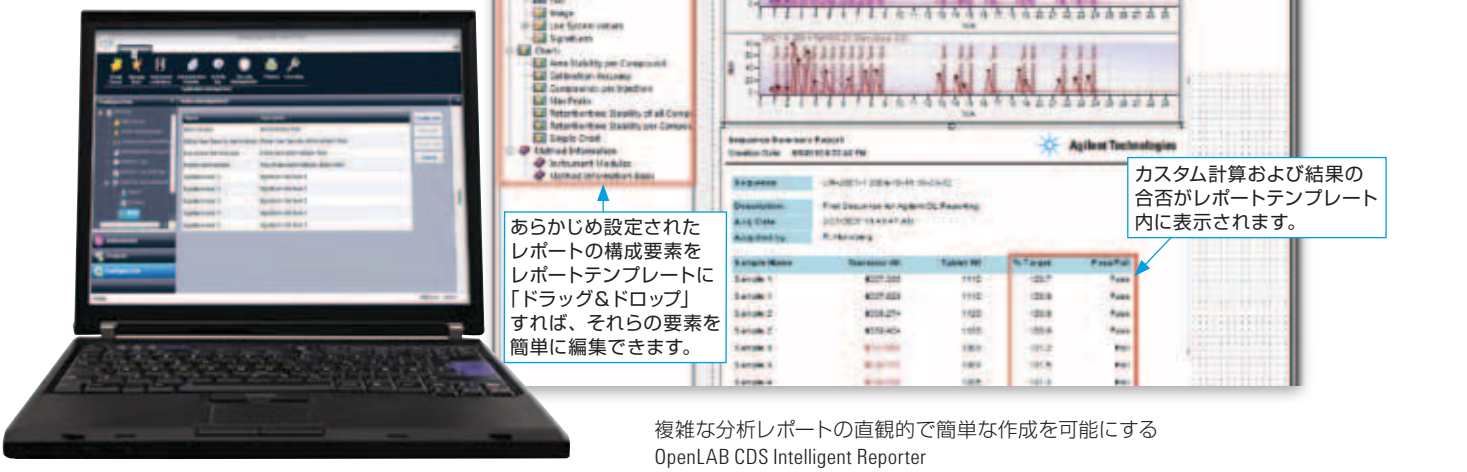
OpenLAB Shared Services コントロールパネルは、OpenLAB CDS による管理の中心として機能し、以下の機能を提供します。

- 機器の最適化。Lab-at-a-glance 画面で、ラボ全体の機器ステータス情報を完全に表示します。
- 集中的なシステム設定およびユーザ、機器、セキュリティ設定の管理を行います。
- システム管理の完全なレポート化を実現します。

新しい Intelligent Reporter : 複雑なレポート作成を容易にし、データ処理のサイクル時間を短縮

OpenLAB Intelligent Reporter では、精製ガス分析、BTU (熱量計算) レポートまたは溶解テストといった CDS の複雑なレポートを容易に作成できます。以下の特長があります。

- 簡単な統計計算から複雑なマルチレベルの計算までに対応するカスタム計算機能を内蔵しています。
- 「ドラッグ&ドロップ」で簡単にテンプレートを作成でき、レポート作成が簡単になります。
- あらかじめ設定されたテーブル、グラフィック、マトリックスを簡単に再利用できる、シンプルなカスタムレポート作成ツールです。
- ビュー機能で最終的なレポート出力が簡単に確認できます。



複雑な分析レポートの直観的で簡単な作成を可能にする
OpenLAB CDS Intelligent Reporter

Lab-at-a-glance : コントロール機能を向上させる
コントロールパネル

分析性能を最適化

すべての分析ラボは、機器が原動力になっています。その機器を最大限に活用することを可能にするのが、ソフトウェアです。OpenLAB CDS なら、アジレント機器でも他社製機器でも、他のベンダーの追随を許さないコントロール機能が実現します。

OpenLAB CDS の特長 :

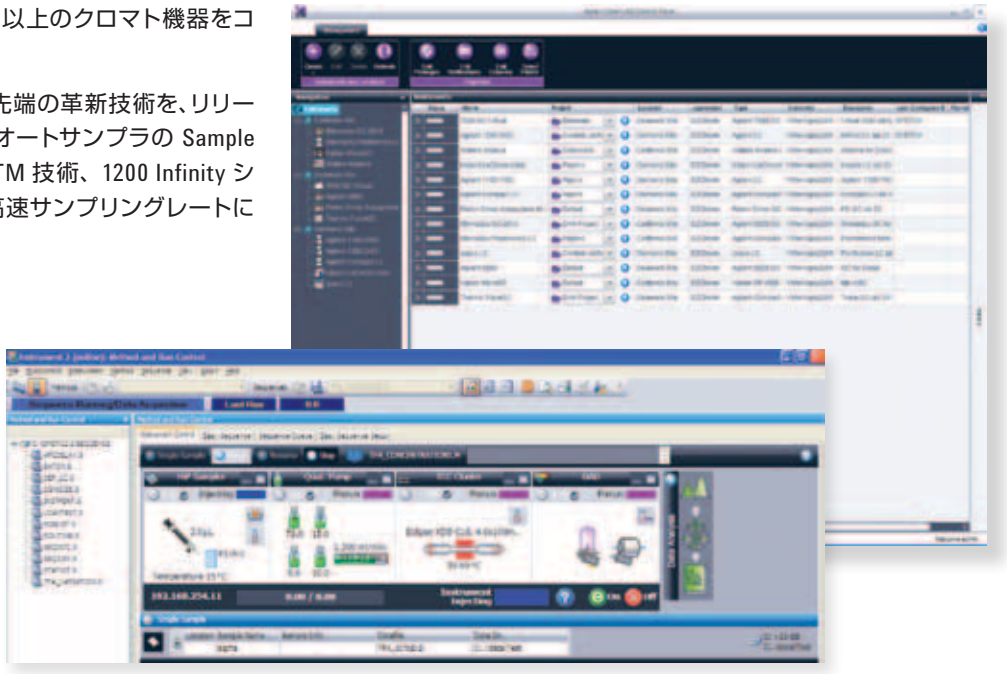
- **直観的な操作。**Microsoft.NET 機器ドライバにより、直観的なユーザインターフェースを実現し、装置コントロールや装置の状況把握が簡単に行えます。
- **新機器のコントロールが向上。**モジュール構成の機器コントロールアーキテクチャにより、新機器ドライバーを追加した際のソフトウェアアップデートが不要になります。
- **安全で中断のない機器コントロール。**コンプライアンス対応の機器コントロールにより、リアルタイムでの継続的な双方向の通信が実現します。
- **データのトレーサビリティが向上。**LC カラムやフローセルに搭載された ID タグには、注入回数やランプ点灯時間等のパラメータが記憶され、その情報をその他の分析データと併せて文書化が可能です。データのトレーサビリティが向上します。
- **データ復旧保護。**ネットワークや接続が完全にダウンした場合でも、Infinity Series LC 検出器が、機器データを一時的に記憶します。
- **共通コントロールが向上。**OpenLAB CDS EZChrom Edition では、あらゆるメーカが提供する 300 以上のクロマト機器をコントロールできます。
- **最先端の技術。**アジレント機器の最先端の革新技術を、リリース直後に利用できます (新しい GC オートサンプラの Sample Prep 自動化、7890A GC の新しい LTM 技術、1200 Infinity シリーズ LC 検出器の 80 Hz/160 Hz 高速サンプリングレートによるデータ採取など)。

柔軟性の高い最先端のアーキテクチャ

OpenLAB CDS は、柔軟性と拡張性の高い OpenLAB Shared Services アーキテクチャをベースに構築されています。これにより実現する数多くのメリットが、管理や使用のコストを削減します。

- (OpenLAB) ELN および ECM とシームレスに統合します。
- 1 台の Agilent Instrument Controller (AIC) あたり最大 8 つの機器に対応します。(OpenLAB CDS ChemStation エディション)
- データ収集のコントローラや記憶装置の仮想化をサポートします。
- Microsoft® の業界規格をベースにした機器コントロール、管理、レポート作成を実現します。
- ファイルベースのサーバ保存 (OpenLAB CDS EZChrom エディション) とデータベース (OpenLAB ECM) のサーバ保存をサポートします。
- スマートフォンを用いて、どこからでもラボのリモートモニタリングが可能です。
- 比類のない拡張性 : 管理、データ保存、リモート機器アクセスを個別に設定できます。

OpenLAB コントロールパネルでは、アジレント機器と他社製機器を簡単にコントロールできます。



Agilent Infinty LC の Microsoft.NET ベースのダッシュボード視覚化機能。安全かつ継続した双方向機器コントロールや、機器パラメータのリアルタイム表示が可能です。

OpenLAB CDS : 保存、ラボ管理、設定管理の拡張性

比類のない拡張性を実現

OpenLAB CDS では、保存、ラボ管理、設定管理の拡張が可能です。OpenLAB CDS の拡張性は、単に機器をネットワークに接続し、リモートアクセスや集中的なデータ保存を可能にするだけではありません。OpenLAB CDS のアーキテクチャは、管理、データ保存、機器アクセスといったすべての主要機能について、ローカル制御かネットワーク全体での集中的な制御かの選択肢を提供します。また、柔軟性にも優れているため、そうしたオプションを任意に組み合わせることができます。これにより、ラボの特定のニーズに応じて、OpenLAB CDS をさらに自由に構成することが可能になります。ここでは、もっとも一般的な OpenLAB CDS 構成の選択肢を紹介します。

OpenLAB CDS
ワークステーション

スタンドアロンの
ワークステーション構成。
会社のネットワークから完全に独立して操作できる構成です。機器接続、データ保存、管理は、すべてローカルコンピュータでおこなわれます。

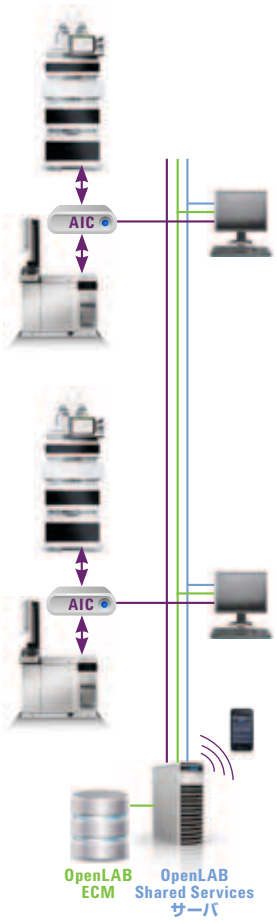
OpenLAB CDS
ネットワーク
ワークステーション

ネットワーク
ワークステーション構成。
ローカルワークステーションの集中管理や、接続したすべての機器の完全な Lab-at-a-glance 表示が可能です。データ保存と機器コントロールは、各ローカルコンピュータでおこなわれます。

OpenLAB CDS
ECM を用いたネットワーク
ワークステーション

OpenLAB ECM での集中保存を
用いたネットワークワークステーション。
ローカル機器コントロールによるすべての接続機器の集中管理および Lab-at-a-glance 表示に、OpenLAB ECM での集中保存が加わります。どこからでもデータを検索できるというメリットがあります。

OpenLAB CDS
ECM を用いた
分散型
クロマトデータシステム



完全分散型の OpenLAB CDS 構成。
管理、データ保存、機器接続は、すべてネットワークで集中的に制御されます。Agilent Instrument Controller (AIC) を使えば、スマートフォンなどを用いて、どこからでも機器のリモートアクセスが可能になります。

組織のすべてのユーザにメリットを提供する OpenLAB CDS

クロマトユーザのメリット：

- **レポートの内容が充実。**直観的な Intelligent Reporter が、包括的なカスタム計算機能を提供します。
- **簡単なレポート作成。**「ドラッグ&ドロップ」でレポートテンプレートを簡単に作成できます。
- **ワークフローのサポートが向上。**データ解析や結果レビューの手動ステップが減り、分析結果へのアクセスが迅速化します。
- **Lab-at-a-glance 機能。**直観的な操作と管理により、システム操作を簡単にします。

IT 管理者のメリット：

- **メンテナンスコストの削減。**集中的な更新やパッチ配備、無人のインストールにより、コスト効率の良いソリューションを実現します。
- **直観的なシステム管理。**使いやすい OpenLAB Shared Services コントロールパネルにより、管理が簡単になります。
- **将来への備えが充実。**OpenLAB 製品群に統合された最先端のアーキテクチャにより、シンクライアント操作や仮想化への対応を可能にします。

ラボ管理者のメリット：

- **効率が向上**：
  - OpenLAB CDS の Lab-at-a-glance 画面は、機器の使用状況を最適化し、どこからでもラボを完全に管理できます。
  - OpenLAB Intelligent Reporter は、データ採取から最終結果までの時間を短縮し、OpenLAB ECM に結果を保存する際に、ラボの装置全体の活用状況のレポート作成を可能にします。
  - Agilent Instrument Controller (AIC) は、稼働時間を伸ばし、分析エラーを低減します。
- **コストの削減。**集中的な配備とサポート機能により、使用コストを削減します。
- **トレーニングと管理を低減。**LC、GC、LC/MS、SFC、CE のデータに対応できる唯一のシステムです。

OpenLAB CDS – さらなるステップアップ

ChemStation をお使いの場合 :

システムをスケールアップし、集中的な保存と管理、リモート機器アクセスといった機能を追加できます。新しい OpenLAB Intelligent Reporter や、新しいユーザ管理機能、OpenLAB Shared Services コントロールパネルの幅広いユーザ権限などを活用できます。以下のようなメリットがあります。

- **柔軟性が向上。**複数シーケンスから任意のデータだけを抽出してバッチ再解析の実施が可能です。
- **レポート作成の迅速化。**新しいナビゲーションコンセプトにより、解析画面でレポートフォーマットを選択するだけで簡単にレポート出力を確認することが可能です。実際に印刷して微調整する必要はありません。
- **機器活用が向上。**ChemStation で制御するラボ内のあらゆる機器からのリモートアクセスが可能です。

EZChrom Elite をお使いの場合 :

OpenLAB CDS EZChrom Edition は、新しい通信プロトコルや OpenLAB Intelligent Reporter、OpenLAB Shared Services との統合により、これまで以上に堅牢で拡張性の高いアーキテクチャを提供します。以下のようなメリットがあります。

- **Lab-at-a-glance overview。**分析機器のステータスやすべてのソフトウェアのログ情報を集中管理することが可能になりました。
- **システム管理の向上。**グループによるユーザ管理、細やかなロール設定、管理者用のレポートなど、システム管理を行う上で必要な機能が向上しました。
- **より良いワークフローの提供。**より迅速なデータレビューや、より柔軟性のあるレポート機能を搭載しました。

製薬用 Agilent Cerity NDS、ChemStore、Varian Galaxie など、他のアジレント製データシステムをお使いの場合は、アジレントが OpenLAB CDS への移行をサポートします。

OpenLAB CDS は、ほとんどの業界標準技術に対応する効率的なソリューションです。ソフトウェアの統合と機器コントロールの向上により、迅速かつ便利で直観的な方法を用いて、分析結果のレポートを作成することが可能になります。OpenLAB CDS は、ラボの効率や品質、コンプライアンスを最大限に向上させることで、研究開発や品質管理の質を高め、製品をより迅速に市場へ送り出すことを可能にします。

Agilent OpenLAB ラボ用ソフトウェア製品群

Agilent OpenLAB ソフトウェア製品群は、機器やローカルデータシステム、ラボの電子情報を統合し、完全に保護された検索可能なシステムにまとめるための戦略を提供するものです。OpenLAB CDS は、拡大を続ける Agilent OpenLAB 製品群に加わった最新の製品です。Agilent OpenLAB 製品群には、日々の実験に関する詳細のキャプチャや管理を可能にする OpenLAB ELN (電子ラボノート)、あらゆる種類のデータファイルのアーカイブ化と検索を可能にする OpenLAB ECM (データ管理システム) などがあります。

OpenLAB

CAPTURE • ANALYZE • SHARE

Agilent OpenLAB の詳細については、アジレントのウェブサイト (**www.agilent.com/chem/jp**) をご覧ください。

カストマコンタクトセンタ
フリーダイヤル 0120-477-111

本書に記載の情報は、予告なく変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2010
Printed in Japan November 30, 2010
5990-6926JAJP

Agilent Technologies